

肖像彫刻を頂戴して

2021-10-7 野口幹夫

いきさつは清水大兄が詳しくお書きいただいておりますが、承諾をもとめられたとき、清水大兄の今年の彫刻素材に使ってもらえるなど、なんと光栄なことと思いました。

求めに従ってわたしの写真をお送りしたり、制作途上の作品や天王寺美術館に出品された様子などを拝見したりしました。

そしてついに10月1日大きな荷物がクロネコヤマト便で届きました。おや軽いのです。銅像しか知らないのですっかり重い銅製を想像していました。丁寧な梱包の中から出てきました。ずっしりとした存在感。見かけは銅製ですが、ありがたいことにプラスチック製でした。

あの写真の通りです。眼鏡をかけていないので、おかしいなと思いながら、自分の眼鏡をはずしてかけてみました。ぴったりでしたし、やはり架けていたほうがいいなと思ったら、ちゃんと眼鏡も胸像の裏に収められていました。それをかけましたら色が同じなのでむろんこのほうがいいですね。

心配げに眺めていた妻が、「眼差しが柔らかで活きている」と感嘆の声を上げました。

我が家にかつてなかつた芸術品。存在感をずっしりと感じました。私に似ている

とは、もったいなくて言えませんが、やはり似ています。

清水様のお言葉通り「作品は歳はとらないので、時々眺めて、老けないで頑張っ

てもらえば幸いである。」我が家のリビングの中央のガラス戸棚に収容させてい

ただき、そのようにさせていただきます。

ありがとうございました。

